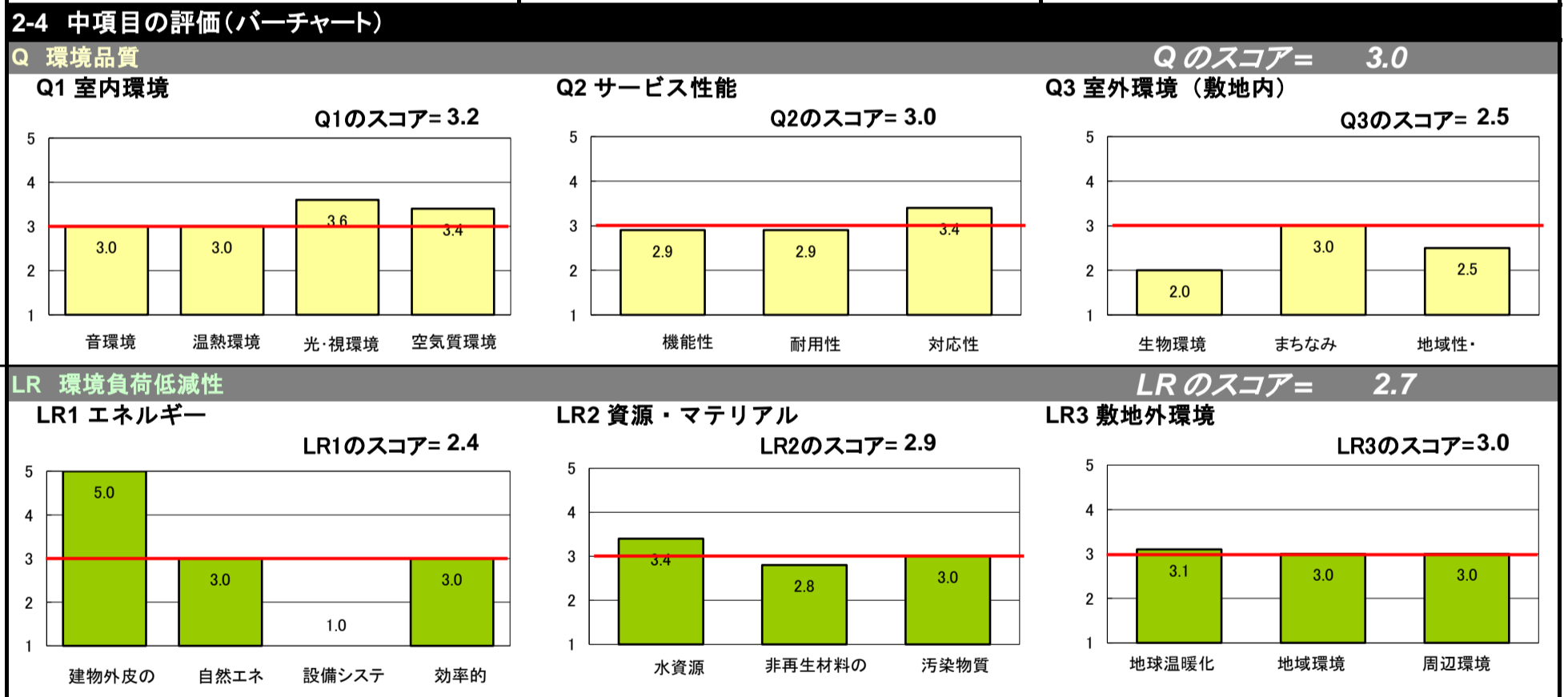
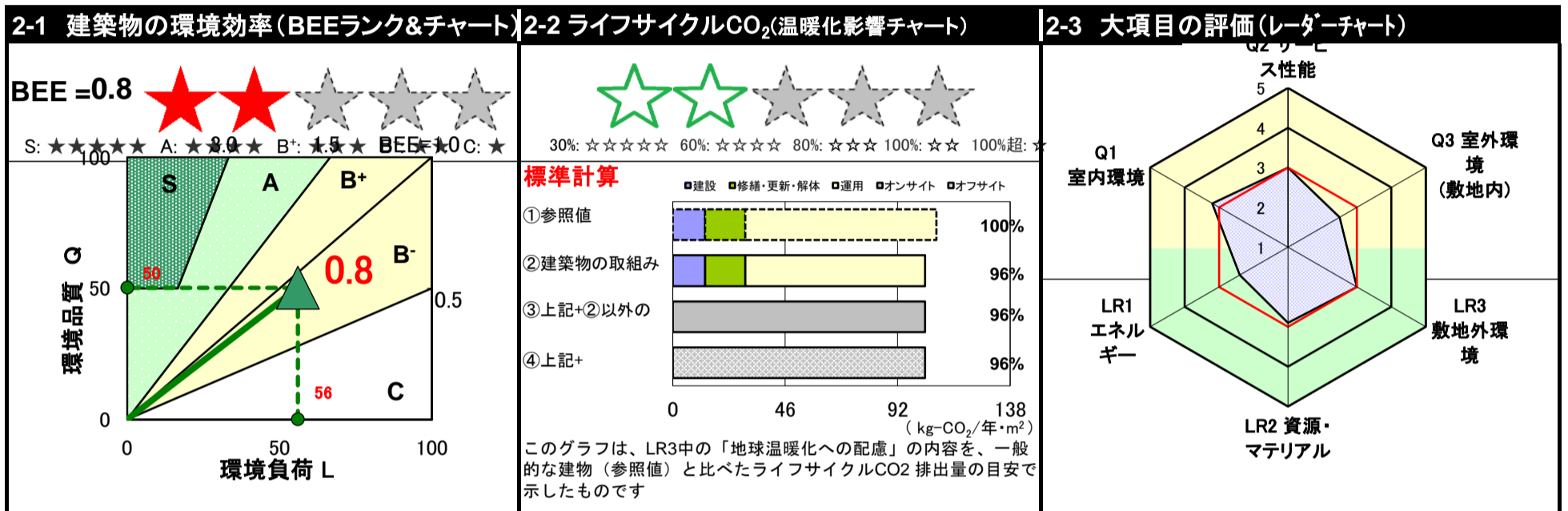


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ミルボン研修センター新築工事	階数	地上4F、地下1階
建設地	小田原市栄町一丁目651番1の一部	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,200時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年11月 予定	評価の実施日	2024年8月23日
敷地面積	833 m <sup>2</sup>	作成者	一級建築士事務所(株)ジムス建築設計事務所
建築面積	541 m <sup>2</sup>	確認日	2024年8月23日
延床面積	2,491 m <sup>2</sup>	確認者	一級建築士事務所(株)ジムス建築設計事務所



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
JR東海道線小田原駅から徒歩3分の商業地域に、事務所単独用途の事務所ビルをRC造、B1F・4Fにて計画した。		-
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
窓U=2.89、外壁U=1.64、SC=0.41、η=0.36	更新必要間隔の長い内装材の採用	-
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BPI <sub>m</sub> =0.70	自動水栓に加えて、節水型便器を採用。	ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率96%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される